

指導普及

1 養殖指導

県内の養殖業者に対し巡回指導を行うと共に、随時魚病診断及び治療、水質環境調査、養殖技術情報伝達等を行った。

(1) 養殖業者指導

マス類養殖業者 31 経営体、アユ養殖業者 3 経営体、ニシキゴイ養殖業者 6 経営体、その他魚類養殖業者 2 経営体を巡回し、飼育環境を点検すると共に養殖技術に関する指導を行った。

(2) ビブリオ病ワクチンの使用に関する指導

ビブリオ病ワクチンの使用に際し、業者からの申請に基づき、その都度現地調査及び魚病検査を行って使用指導書を発行した。

平成 30 年度の使用指導書の発行はニジマスのみで 7 件であった。

魚種	指導書発行件数	使用業者件数	使用量
ニジマス	7 件	3 経営体	110.0 L

(3) 水産用抗菌剤の使用に関する指導

水産用抗菌剤の使用に際し、業者からの申請に基づき使用指導書を発行した。平成 30 年度の使用指導書の発行は 7 件、使用業者は 7 経営体であった。魚種はニジマス、ヤマメ、アマゴ、イワナであった。なお平成 29 年度の使用指導書の発行はニジマスのみで 2 件（使用業者経営体も同数）であった。

(4) KHV 病対策

○ KHV 病発生状況

平成 30 年度は観賞魚販売店で発生が 1 件あった。すべての飼育池のニシキゴイを農林水産省が示した特定疾病ガイドラインに準拠し、PCR 法を用いて一次診断を行った。最初に 1 時診断陽性となった同個体の鰓 5 個体分を（国研）水産研究・教育機構 増養殖研究所に送付し、KHV の確定を診断した。要請が確認されたニシキゴイは業者が自主的に殺処分し、飼育池は塩素による消毒を実施した。

○ KHV 保菌検査

当所産マゴイ 60 検体について、農林水産省が示した特定疾病ガイドラインに準拠し、PCR 法を用いて一次診断を行った。その結果、すべての検体が KHV 陰性と診断された。

(5) 輸出錦鯉衛生証明の発行

山梨県輸出錦鯉衛生証明事務取扱要領に基づく、輸出衛生証明書発行ガイドラインのリスト掲載養殖場は 5 経営体で、これらの養殖場に対して次のとおり衛生証明書を発行した。

平成30年度の輸出錦鯉衛生証明書発行件数

国名	回数
アメリカ	5
イギリス	5
ドイツ	3
マレーシア	10
ヴェトナム	2
スウェーデン	3
オランダ	1
ウクライナ	3
ロシア	3
タイ	1
モーリシャス	1
11カ国	37

(6) 魚病診断件数

平成30年1月から平成30年12月に、当所に持ち込まれた検体および現地で採取した検体について魚病診断した結果は次のとおりである。

	ニジマス	ヤマメ	アマゴ	イワナ	ヒメマス	ブラウト	アユ	コイ	ホンモロコ	トラフグ	合計
● 単独感染											
(ウイルス性疾病)											
1 IHN	6	2									8
2 KHVD											0
3 OMV											0
4 ACGD											0
5 VNN											0
(細菌性疾病)											
6 セツそう病			1								1
7 ビブリオ病	1			1							2
8 細菌性鰓病	1				2						3
9 細菌性腎臓病											0
10 冷水病	2						1				3
11 運動性エロモナス症								1			1
12 連鎖球菌症	1										1
13 カラムナリス症								1			1
14 穴あき病											0
15 細菌性白雲症											0
16 エドワジエラ・イクタルリ感染症											0
17 滑走細菌症											0
(真菌症)											
18 イクチオフォオヌス症											0
19 胃鼓張症											0
20 内臓真菌症	1										1
21 水カビ病						1					1
(寄生虫症)											
22 キロドネラ症											0
23 白点病 (淡水魚)											0
24 白点病 (海水魚)										2	2
25 エルガシルス症											0
26 ギロダクチルス症											0
27 ダクチロギルス症											0
28 トリコディナ症											0
29 グルゲア症											0
30 チョウ症											0
31 テトラオンクス症											0
32 腸管鞭毛虫症											0
33 イクチオボド症											0
34 エピスチリス症											0
(水質異常)											
35 ガス病											0
● 混合感染											
1+8			1								1
1+10	6	1									7
1+21	1										1
1+7+21+26		1									1
1+10+21+26		1									1
7+26+28	1										1
10+26							1				1
20+35		1									1
不明	1					1	2				4
合計	21	6	2	1	2	2	4	1	1	2	42

2 増殖指導

河川湖沼の漁協等に対して増殖に関する指導を行うとともに、随時環境調査や増殖技術情報の伝達を行った。

(1) 漁協指導

月日 (回数)	対象 (人数)	内 容	担 当
4月3日	富士川漁協(2)	アユの増殖方法について	大浜, 望月, 芦澤
4月11日	峡東漁協 (3)	アユの増殖方法について	芦澤
6月18日	山中・河口・西湖・精進湖(9)	富士五湖のワカサギ振興について	大浜, 望月, 青柳, 名倉
7月27日	河口湖漁協 (10)	魚類生息状況調査指導	名倉
10月19日	山中湖漁協 (3)	ワカサギ養殖指導	大浜, 名倉
11月7日	山中湖漁協(10)	山中湖のワカサギ増殖について	大浜, 青柳
1月10日	峡東漁協(7)	溪流魚の増殖方法について	加地
2月12日	峡北漁協 (2)	アユの増殖方法について	芦澤

(2) 関係機関指導

月日 (回数)	対象 (人数)	内 容	担 当
4月6日～ 3月30日 (15回)	山梨県漁連 (延べ30)	カワウ繁殖抑制指導	加地
4月3日	峡南建設事務所 (4)	スナヤツメの保全について	大浜, 青柳
4月20日	県土整備部河川砂防担当者 (80)	河川砂防担当者会議講師	青柳
7月26日	忍野村(3)	ホトケドジョウの保全について	大浜
9月3日	甲府河川国道事務所 (2)	カワウ繁殖抑制について	加地
9月5日	中北農務事務所 (3)	ため池改修時の外来魚対策	大浜, 青柳, 加地
3月14日	富士河口湖町 (2)	クニマスの保全について	大浜, 望月

3 普及

(1) 講習会の開催

- 養殖技術講習会 平成31年1月23日 県漁連水産会館
「低魚粉飼料の有効性評価試験の結果について」
水産技術センター忍野支所 研究員 小澤 諒
- 「低魚粉飼料でも高成長を示すニジマスの選抜試験結果について」
水産技術センター忍野支所 主任研究員 三浦 正之
- 「マス類養殖業の生産コストに関する調査結果について」
水産技術センター忍野支所 支所長 岡崎 巧
- 増殖技術講習会 平成30年7月13日 県漁連水産会館
「河川植生の特性とそれによる改変作用が河川環境に与える影響」
埼玉大学大学院 理工学研究科 教授 浅枝 隆 氏

(2) 水産技術センター便りの発行

県内水産関係者向けに、山梨県水産技術センター便り No.65,66 を発行した。

(3) 行事等への協力

- 6月16日 甲斐駒ゆらみずフェア魚展示 (青柳)
- 6月23日 山梨大学市民セミナー講演 (名倉)
- 7月16日 海の日環境フォーラム2018講演 (大浜)

8月29日	甲斐駒清流懇話会砂防郊外授業 講師 (青柳)
9月15日	やまなし育水推進県民大会講師 (三浦)
9月28日	忍野中学校職業講話 (三浦・平塚)
11月10日	山梨県錦鯉品評会審査委員長 (大浜)
11月17日	科学アカデミー講演 (三浦)
11月21日	食品衛生協会特別講演 (名倉)
11月22日	忍野小学校講義 (小澤)
11月30日	鳥インフルエンザ防疫演習 (加地)
12月5日	山梨県立大学講義 (大浜)

(4) 新聞雑誌への掲載等

月 日	新聞雑誌名	内 容
4月5日	読売新聞	アユ稚魚初出荷
4月5日	朝日新聞	アユの稚魚出荷始まる
5月15日	山梨日日新聞	ワカサギ「純河口湖産」へ
5月26日	朝日新聞	育てよ奇跡のクニマス 生態・人工繁殖の研究, 本格化
6月6日	山梨日日新聞	コクチバス繁殖「可能性低」 西湖, 本栖湖県が調査
6月8日	毎日新聞	「甲州鬼えび」名物に オニテナガエビ養殖に成功
7月8日	山梨日日新聞	珪藻増でアユ釣果減 餌のコケ繁殖阻害か 県が河川調査
8月24日	山梨日日新聞	甲斐サーモン (小菅) 源流が育む自然の味
9月11日	山梨日日新聞	特集やまなしの平成 西湖でクニマス発見 養殖研究 種の保存へ道筋
10月10日	山梨日日新聞	ウナギ謎の大量死 河口湖 他魚種は異常なし
10月11日	朝日新聞	ウナギ 100匹近く死骸で見つかる
10月11日	毎日新聞	河口湖にウナギ死骸 誰かが投棄か
10月11日	読売新聞	河口湖でウナギ大量死 死骸100匹 原因を調査
10月13日	山梨日日新聞	ウナギ死因特定不能 河口湖大量死 県「湖水問題なし」
10月25日	読売新聞	オリジナル淡水魚特産に
11月10日	山梨日日新聞	富士の介すくすく 養殖公開 2020年の流通めど
11月13日	読売新聞	ブランド魚へスクスク 「富士の介」生育状況公開
12月27日	山梨日日新聞	クニマス生存率9割に 人工ふ化1年後 生き餌使い向上
1月7日	朝日新聞	クニマス秋田に再び「里帰り」へ 県が追加貸与
2月14日	東京中日スポーツ	富士の介 山梨水技セ念願の交配成功 世界初キングサーモン×ニジマス
3月21日	山梨日日新聞	西湖のクニマス卵外来ウナギ捕食か 県が調査, 駆除を検討
3月21日	朝日新聞	クニマスの卵ウナギが捕食 県水産技術センター発表
3月21日	産経新聞	クニマスの卵を捕食活動 天敵はヨーロッパウナギ

(5) 視察及び見学

○ 本所関係

月 日	内 容	受入人数
5月18日	敷島北小見学	80名
7月5日	副知事視察	5名
7月13日	農政部若手職員研修	18名
7月30日	立正大付属高校生徒研修	1名
8月23日	インターンシップ	1名
11月7日	地域の自然と文化研究会視察	17名
3月13日	千葉県水道局視察	2名

○ 支所関係

月 日	内 容	受入人数
5月9日	東海大学学生視察	4名
5月11日	秋田県議会議員視察	1名
5月24日	秋田県農林水産部視察	4名
7月12日	忍野村村議会・小山町村議会視察	30名
9月18日	インターンシップ（日本大学3年生，21日まで）	2名
9月28日	山梨大学 CST 養成プログラム	15名
10月10日	東京大学魚病学研究室視察	15名
10月29日	甲府南高校 SSH 生物講座	45名
11月30日	東海大学採卵実習	20名
1月28日	笛吹市春日居町養鯉組合視察	15名

(6) クニマスの貸出実績(尾)

貸出実績なし